

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

(吾妻地区活性化計画)

計画主体名	計画期間
とちぎけんまのし 栃木県佐野市 とちぎけん 栃木県(代表)	平成22年度～平成26年度

< 連絡先 >

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
佐野市産業文化部農山村振興課	0283-61-1163	0283-62-8929	nousanson@city.sano.lg.jp
栃木県農政部農村振興課	028-623-2363	028-623-2337	nouson-sinkou@pref.tochigi.lg.jp

【記入要領】

計画主体名

・市町村名にはふりがなをふる

計画期間

・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

連絡先

・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

メールアドレス

・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
	定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	
計画区域における農業用排水施設等の機能の確保 (ha) = 計画期間内に農業用排水施設等の整備により条件整備され機能が確保された農地の面積 (ha) = 108ha (受益面積)		
事業活用活性化計画目標の設定根拠 現在の幹線排水路の一部は土水路であるが、経年変化により法面が崩れ、その結果河床が上昇し排水断面不足をきたし、幹線排水路としての機能が低下している。幹線排水路の整備により、排水機場までの排水を容易にし、排水機の機能が十分に発揮されることで、水田の汎用化による農業経営の改善・安定を図る。これらの効果により農家人口の減少を抑制し、当地域の定住化を促進する。		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

【記入要領】

事業活用活性化計画目標

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・事業活用活性化計画目標の項目は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- ・事業活用活性化計画目標の記載にあたっては「事業活用活性化計画目標の設定について」により記入すること。

活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
農業用排水施設	吾妻地区	農業用排水路	L = 715m (既設利用区間含 む)	平成22年度～ 平成23年度	佐野市土地改良区	46,200	23,100	1/2	23,100	排水路の整備により、適切な排水管理ができ、農業生産性の向上が見込まれること により、農業従事者の定住化促進を図る。
計						46,200	23,100	1/2	23,100	
合 計						46,200	23,100		23,100	

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容の欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性について併せて記載すること。
- ・事業メニューには、実施要領の別表の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模は、施設毎の棟数と床面積、農道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・実施期間は、原則として3年以内とすること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。

優先枠等を活用する事業に関する事項 … 該当なし

(交付対象事業別概要)

1 生産製造連携事業計画優先枠

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優先枠に係る事業内容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

優先枠の種類	地区名	優先枠に係る事業内容
2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠		

3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優先事項に係る事業内容
3 輸出促進条件整備事業			

